

クラウド型 ETL/データ連携サービス

# Reckoner紹介資料

〈レコナー〉



1. 会社紹介
2. データ連携基盤を活用した DX
3. 滑らかなデータ基盤を実現する
4. クラウド型 ETL/データ連携サービス  
Reckoner (レコナー) とは
5. ユースケース
6. 導入事例
7. トライアル
8. お問い合わせ

## Appendix

- ・パートナー募集

01

# 会社紹介

社名	株式会社スリーシェイク(3-shake Inc.)
VISION	インフラをシンプルにしてイノベーションを起こす
代表取締役	吉田 拓真(よしだたくま)
所在地	本社:東京都新宿区大京町2-1 グランファースト新宿御苑3F・4F
設立日	2015年1月15日
従業員数	131名(非正規社員を除く)
資本金	1億円
事業内容	SREコンサルティング支援事業「Sreake(スリーク)」運営 セキュリティサービス「Securify(セキュリファイ)」開発・運営 クラウド型データ連携ツール「Reckoner(レコナー)」開発・運営 フリーランスエンジニア特化型人材紹介サービスRelance(リランス)」運営

SRE



スリーク

## 日本のSREをリードする

SRE総合支援からセキュリティ対策を全方位支援

Data Engineering



レコナー

## あらゆるサービスを連携するハブになる

クラウド型ETL/データパイプラインサービスの決定版

Security



セキュリファイ

## 事業者が抱えるセキュリティリスクを無くす

ワンストップで実現するセキュリティ対策

HR (Engineer Hiring)



リランス

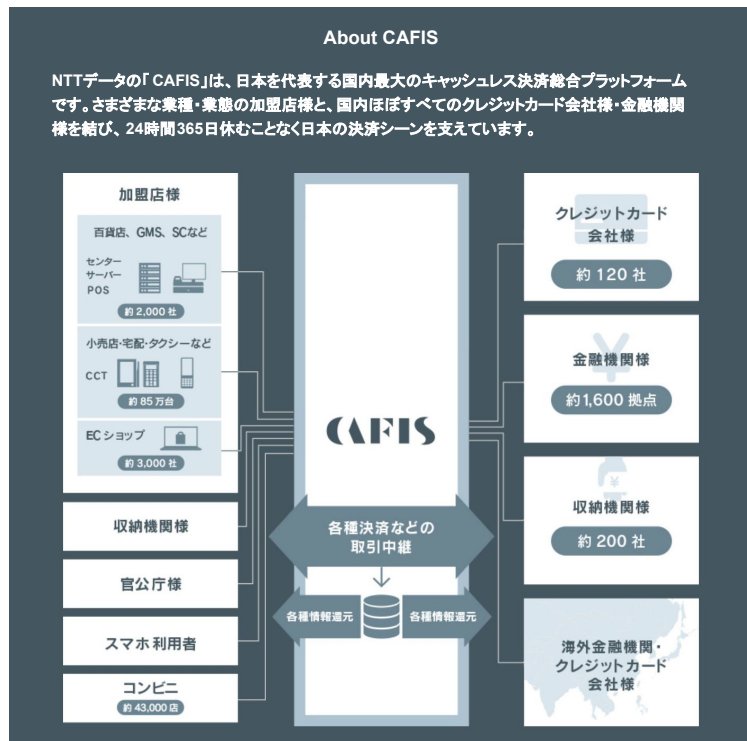
## 良いエンジニアに良い案件を

フリーランスエンジニアに「今よりいい条件」を

**エンジニアリング内製化** ソリューション(モダナイゼーション)を包括的提供

## Digital CAFIS の立ち上げ ~ 運用までトータルでの支援

クレカ決済・〇〇Payを支える決済プラットフォーム CAFIS(キャフィス)のインフラ支援



・NTTデータ様が持つ決済プラットフォーム「CAFIS」の次世代開発及びSRE 立ち上げを3-shakeがリード

・SRE の実現による サービス全体の信頼性向上を実現

・大規模アジャイル開発フレームワークSAFe実践による内製化

・Cloud上でPCI DSS\* 準拠等の 高度なセキュリティ要件に対応

※ 事例動画は[こちら](#)よりご参照下さい

\* PCI DSS - クレジットカード情報および取引引き情報を保護するために策定されたグローバルセキュリティ基準

NTT DATA

 PAYGENT

no+e

stand.fm

  
GNUS



SELF

 ココナラ

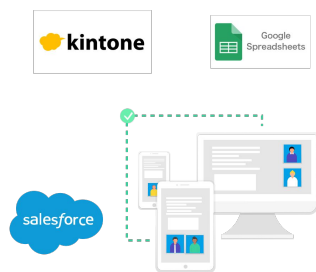
FLUX

 bitkey

02

# データ連携基盤を活用した DX





## 01 情報共有コストの 削減

事業KPIや顧客データなどを自動で共有することによって組織内の情報共有を円滑に



## 02 課題の発見及び 戦略の立案

日々の施策の効果や、顧客行動を分析することで、データドリブな施策の立案が可能



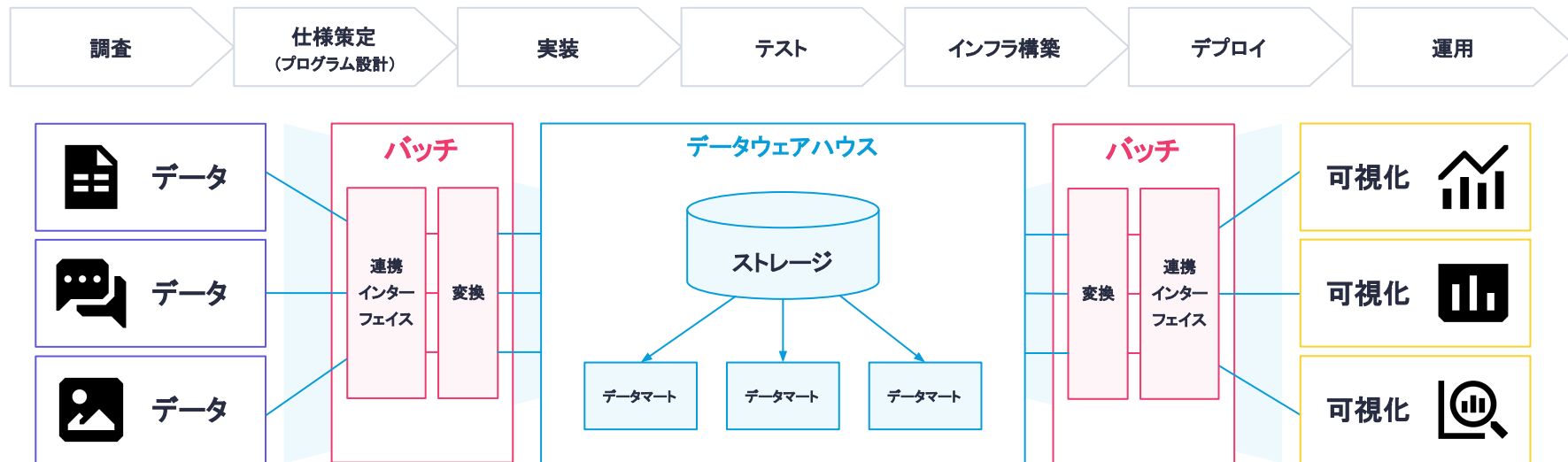
## 03 施策の費用対効果の 向上

ターゲティング精度向上によるマーケティング・セールス施策の費用対効果の最大化

03

# 滑らかなデータ基盤を実現する

通常、データ連携を実施するためには多くのコストが必要。連携間のバッチ処理の実装コスト、実装した処理のパフォーマンス・情報漏洩を防ぐセキュリティ性の担保。さらに各実装が実装したエンジニアに属人化しがち。



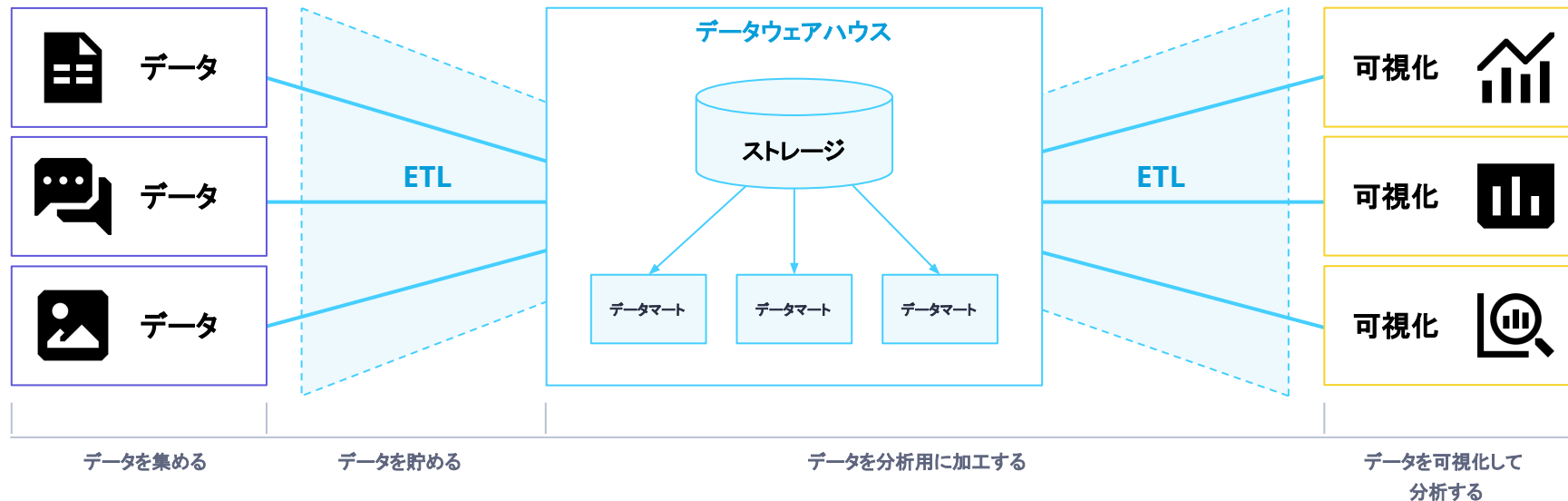
データの流れや、処理の中身が  
実装したエンジニアに属人化



- ・非エンジニア部門ではデータの流れがわからない
- ・DataとOps(業務)が離れてしまう

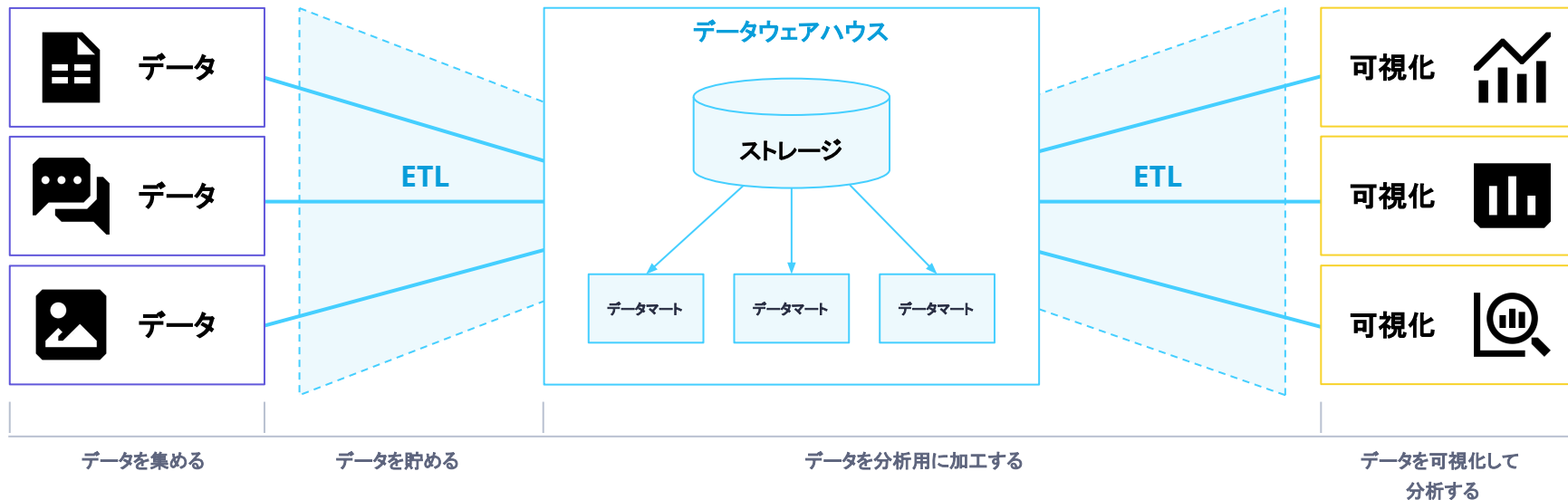
## ① 再現性 (誰でも触れるか、PDCAしやすいか)

データをエンジニアだけが見えるモノではなく、非エンジニア(セールス・マーケティング・業務など)部門に対しても、データの連携・流れの見える化を行い、共通言語で話せるように**データの民主化**を行う必要有。そうすることで再現性が高く属人化させずにPDCAを回すことが可能。



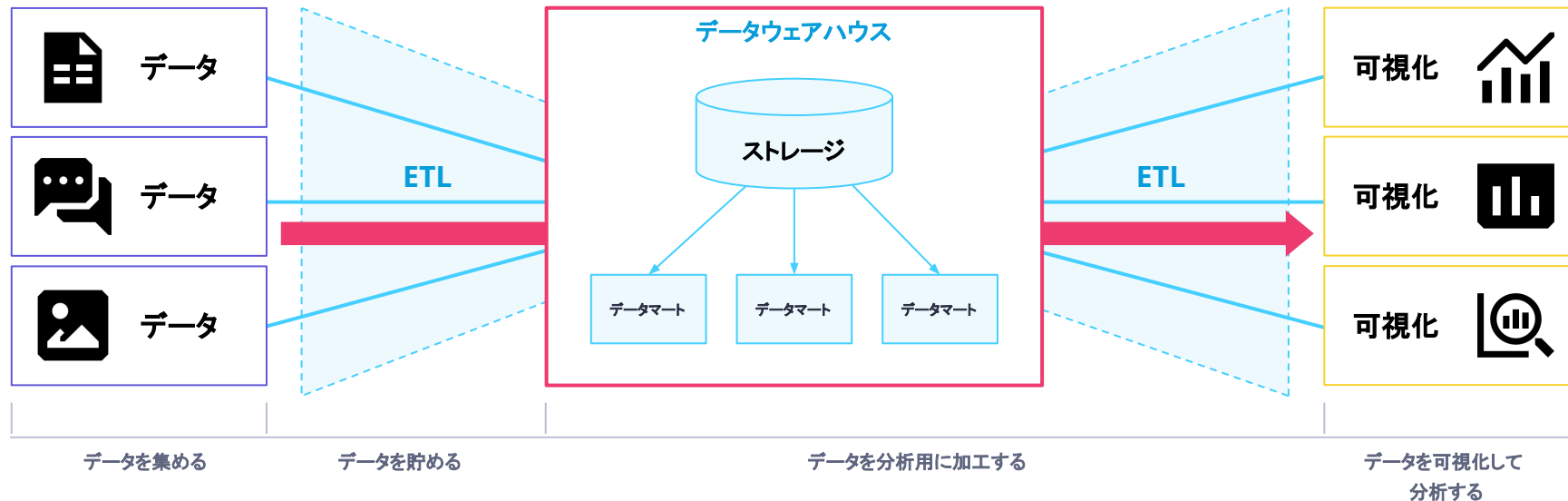
## ② データ基盤構築コスト(設計 / 開発・構築 / 保守)が低い

データソース⇒DWHへ、DWH⇒ツール・DBへデータ連携をする際に、連携ごとに個別のバッチを作成すると、設計/開発コストが高い。また、仕様やバージョン変更の際に再構築/保守のコストが発生。更に、設計/開発そして再構築/保守において低コストでデータ基盤を構築するインフラレイヤーの課題も浮き彫りに。



## ③ セキュリティとパフォーマンスの管理

データ連携の際に、処理に時間がかかってしまい、パフォーマンスが低ければ業務効率化の支障に。また、DWHのセキュリティをどれだけ強固にしてもデータ連携間で情報漏洩してはサービス/事業存続の危機に。データ連携間でのパフォーマンス・連携するデータ安全に連携するセキュリティが不可欠。



**1** 再現性（誰でも触れるか、PDCAしやすいか）

**2** データ基盤構築コスト（設計/開発・構築/保守）が低い

**3** セキュリティとパフォーマンスの管理

この3つを備えたデータ活用環境を整えること（クラウド型ETL導入）が重要！

04

# クラウド ETL/データ連携サービス Reckoner(レコナー)とは





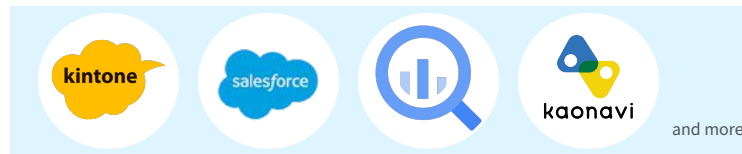
## SaaSをつなぐ。業務が変わる。ビジネスが進化する。

Reckonerは、データの集約・加工・連携をノーコードで  
誰でも簡単に実行できるクラウドサービス

コーディングを行うことなく、ブロックを繋げるような簡単 3ステップのマウス  
操作で、すばやくラクにデータを連携します。これにより、現場主導での  
データ活用が促進され、データの民主化を実現します。

クラウドだから初期投資や運用負担も大幅削減。

kintone、Salesforce、Google BigQuery、カオナビなど、100種以上の多種  
多様な SaaSを連携し、データ運用の効率化とデータ活用の高度化を支援  
します。



# Reckonerのデータ連携全体像

**ファイル**

**データベース & ストレージ**

**SaaS**

**広告・SNS**

**外部API**



**ファイル**

**メール**

**データベース & ストレージ**

**SaaS**

**SNS**

**外部API**



1

再現性(誰でも触れるか、PDCAしやすいか)

➡ **非エンジニアでも一目でデータの流れるわかる UI**

2

データ基盤構築コスト(設計 /開発・構築 /保守)が低い

➡ **バッチ処理など一切のプログラム不要！**

3

セキュリティとパフォーマンスの管理

➡ **SREのプロフェッショナルであるスリーシェイクが提供  
快適に運用できるパフォーマンス性と高いセキュリティを実現**

**Reckonerはこの3つを備え、データ統合/活用に必要な環境を実現**



ノーコード



豊富な連携先



直感的に  
操作可能なUI



プレビュー機能

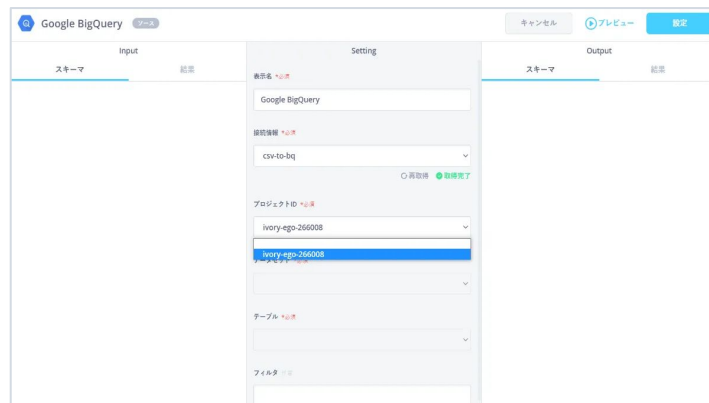
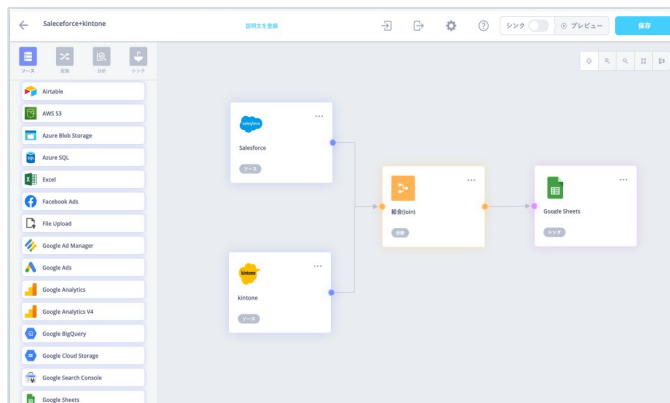


安全なインフラ  
セキュリティ

## プログラム不要、GUIですべて完結

通常のデータ連携では、バッチの制作が必要。しかしReckonerなら、**一切のプログラムは不要**。

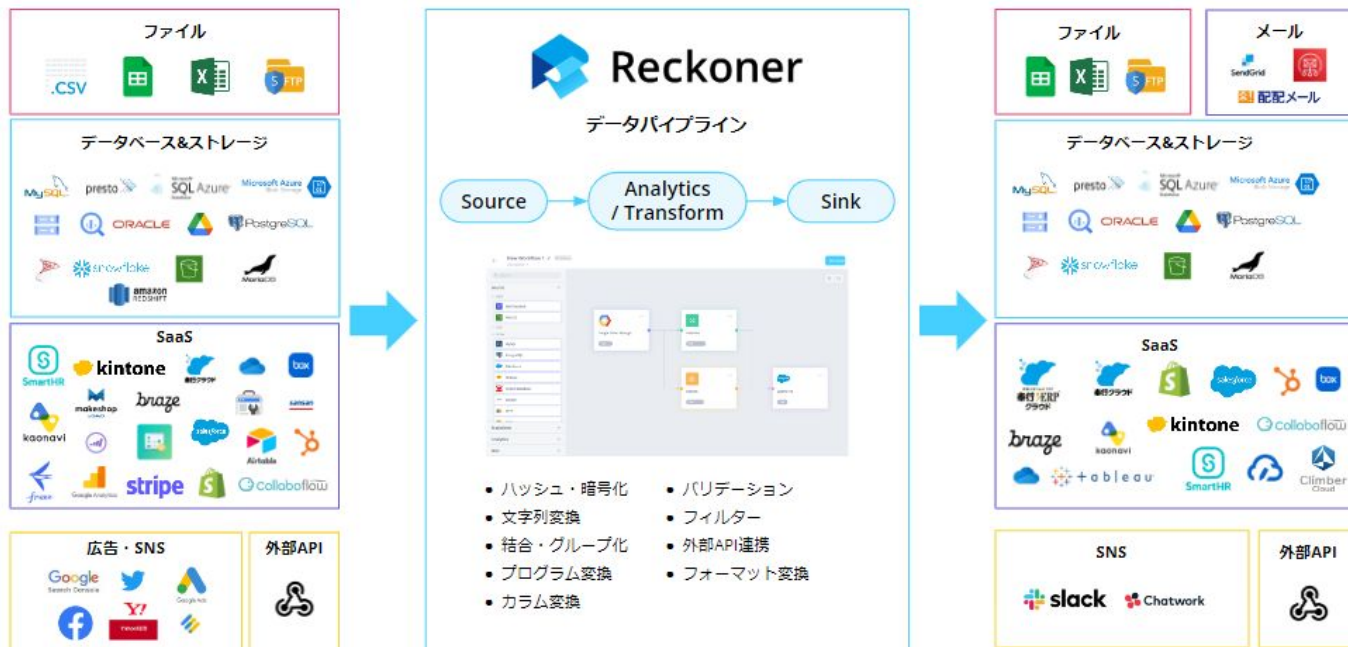
ワークフローの作成というシンプルなステップのみで実装可能。



## 多数のデータベースやSaaSアプリケーションと接続可能

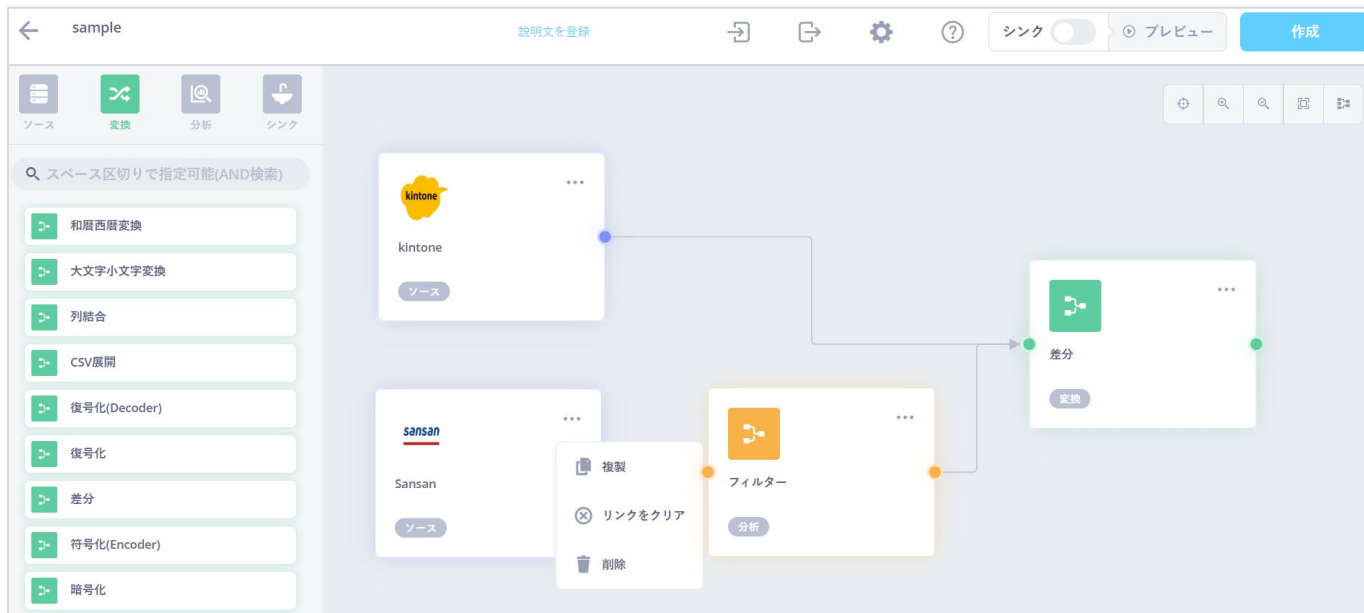
広告・SFA/MA・CRMなどなど、あらゆるデータソースと連携し、必要なデータの分析・活用が可能。

Reckonerは引き続き、さらに多くのデータソースとの連携を実施予定。



## 初期の設定～デプロイまで、全ての操作が驚くほど直感的に設計

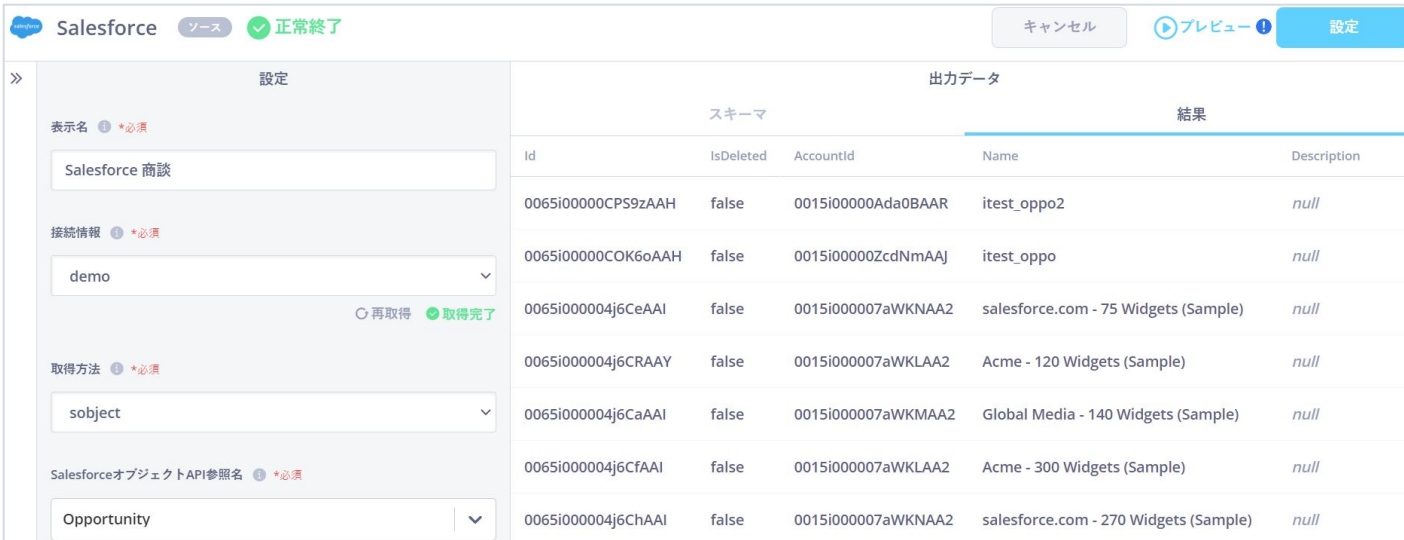
複数データソースからのデータ連携や、リアルデータでのプレビューなど、データ連携のかゆいところまで考慮され、非エンジニアでも扱いやすい設計





## リアルデータで変換や結合のプレビューが可能

通常の実データ解析では、想定通りのデータが得られたか確認するために、検証環境の構築など様々なステップを経てデータ処理のフローを1つ1つ確認が必要。しかしReckonerなら、画面上にリアルデータで処理結果のプレビューを表示することができ、常に結果を確かめながら操作をすることが可能。



Salesforce ソース 正常終了 キャンセル プレビュー 設定

設定

表示名 \*必須  
Salesforce 商談

接続情報 \*必須  
demo

取得方法 \*必須  
subject

SalesforceオブジェクトAPI参照名 \*必須  
Opportunity

出力データ

スキーマ			結果	
Id	IsDeleted	AccountId	Name	Description
0065i00000CPS9zAAH	false	0015i00000Ada0BAAR	itest_oppo2	null
0065i00000COK6oAAH	false	0015i00000ZcdNmAAJ	itest_oppo	null
0065i000004j6CeAAI	false	0015i000007aWKNAA2	salesforce.com - 75 Widgets (Sample)	null
0065i000004j6CRAAY	false	0015i000007aWKLAA2	Acme - 120 Widgets (Sample)	null
0065i000004j6CaAAI	false	0015i000007aWKMMAA2	Global Media - 140 Widgets (Sample)	null
0065i000004j6CfAAI	false	0015i000007aWKLAA2	Acme - 300 Widgets (Sample)	null
0065i000004j6ChAAI	false	0015i000007aWKNAA2	salesforce.com - 270 Widgets (Sample)	null

## 安全なインフラ・セキュリティ

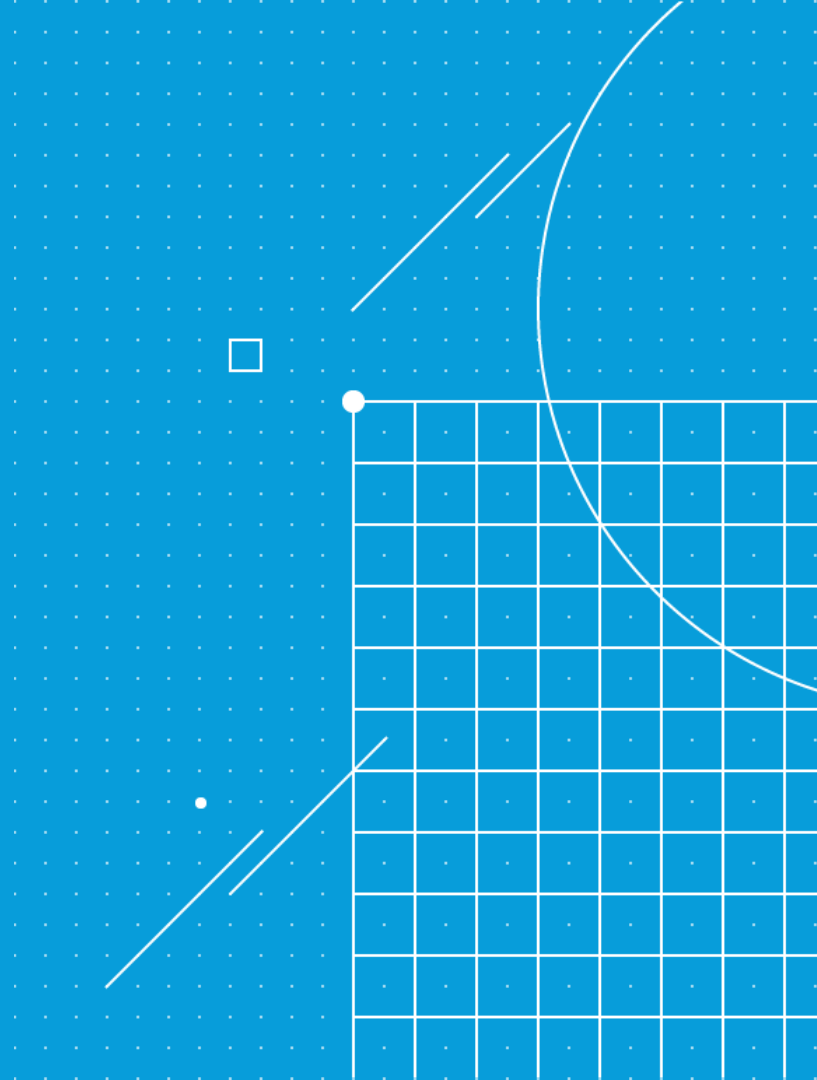
SRE(サイト信頼性エンジニアリング)に強い当社スリーシェイクのインフラ環境であり、**別途のETL基盤準備が不要**。

つまりデータエンジニアリングをする上で、**可用性やバックアップ・セキュリティ対応などが不要**。



05

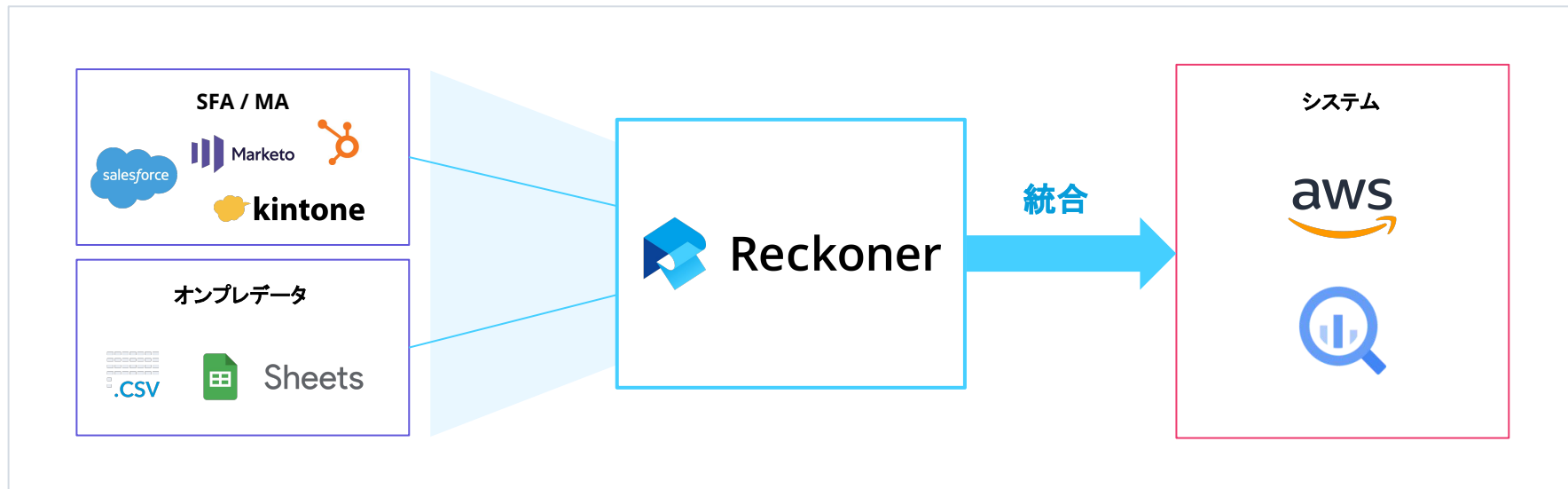
# ユースケース



Google Cloud、AWS、Azure間のデータパイプラインを構築し、  
マルチクラウドを実現可能



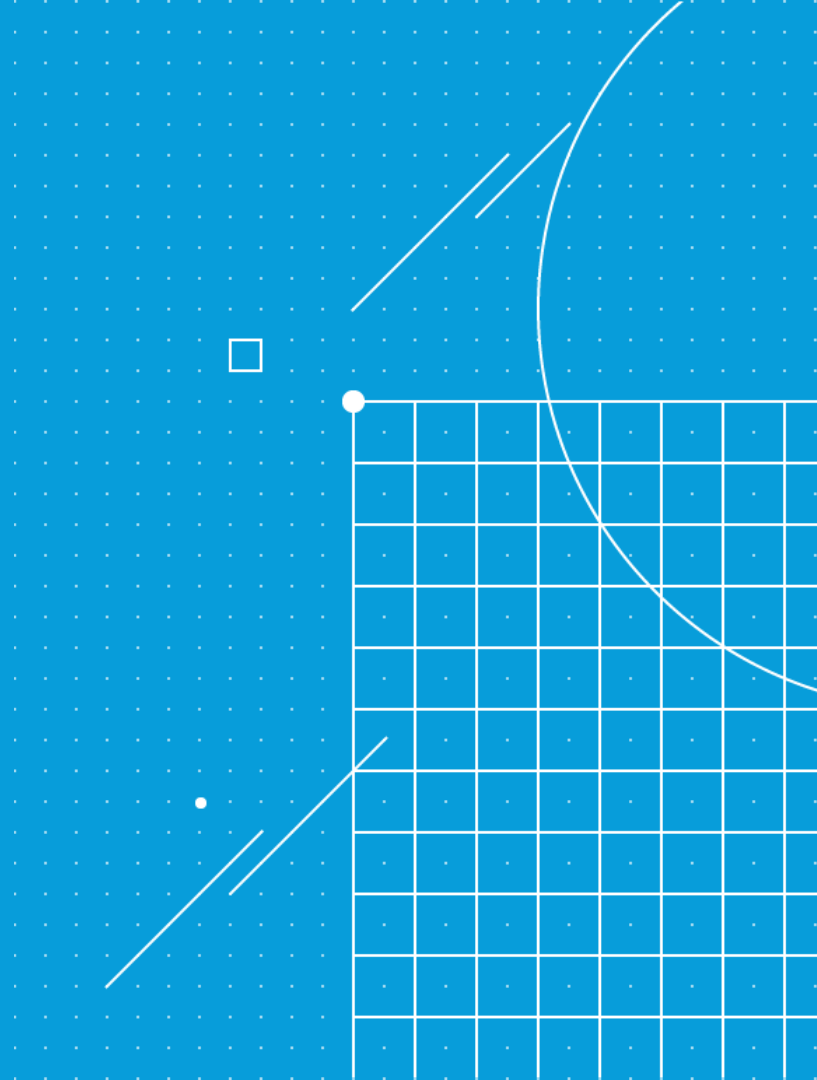
Sheets、EXCEL、CSV、CRM(salesforce、kintone、hubspot、Marketo)などを、  
システム(AWS、BigQuery)にReckonerを使ってひとつに統合



BigQueryやAWS S3,Snowflakeのデータ前処理基盤として利用することで  
データ分析パイプラインを作成し **顧客分析、売上分析、マーケティング分析** が可能に



# 06 導入事例



## 独自開発のオンプレETLをReckonerに移行し データ連携エラーがゼロに。 データ連携処理にかかっていた時間を約40%削減

“開発者でなくても直感的に連携フローが作成できる手軽さに好感を持ちました。初期費用がかからない点もコストパフォーマンスが良いと感じました”

“スピード感/柔軟性重視のデータ連携にReckonerが最適”

### auコマース & ライフ様

au Payマーケットのデータ連携基盤に採用

[事例の詳細を読む](#) ▶

## au コマース&ライフ

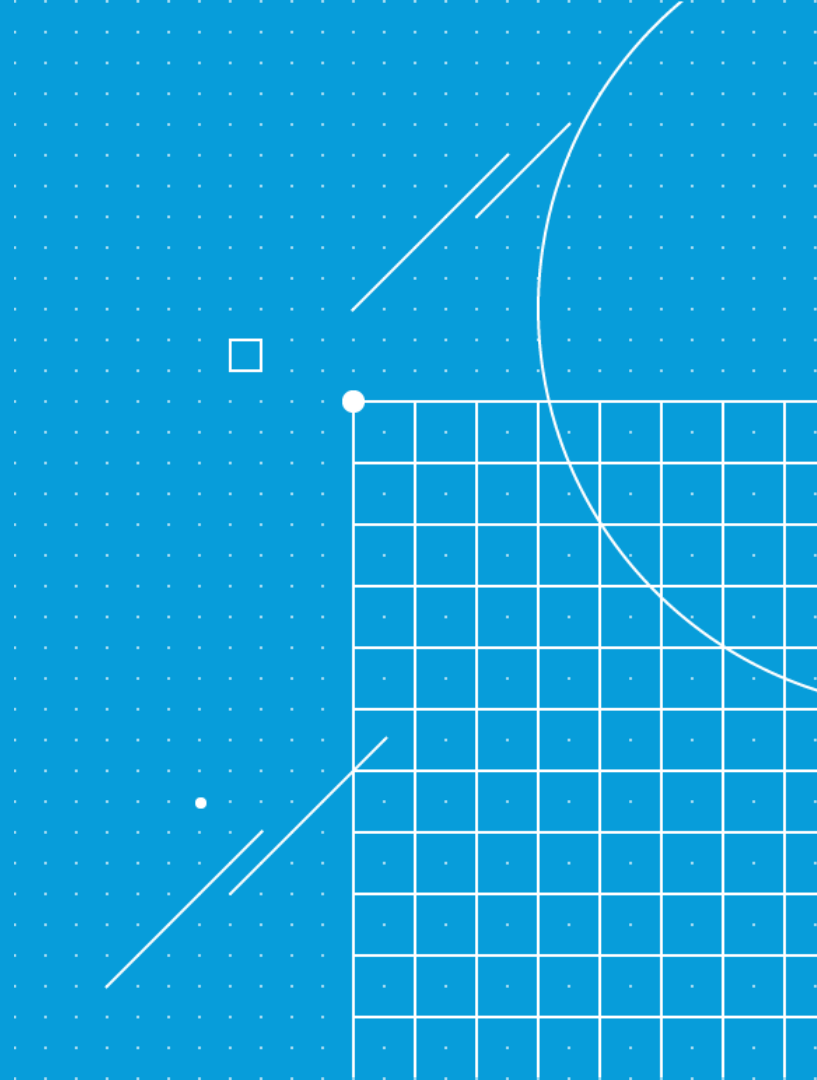


auコマース&ライフ株式会社 サービス本部サービス推進部 佐藤 様



07

# トライアル



トライアルから検証やワークフロー実現に向けての流れになります。

## STEP1



### トライアル前 MTG

- ・トライアル実施内容のご確認
- ・トライアル前のご懸念の解消

## STEP2



### トライアル開始

- ・操作方法のご説明
- ・連携処理イメージのご提案

## STEP3



### トライアル実施

- ・ご不明点の解消
- ・ご状況に応じたフォロー

## STEP4



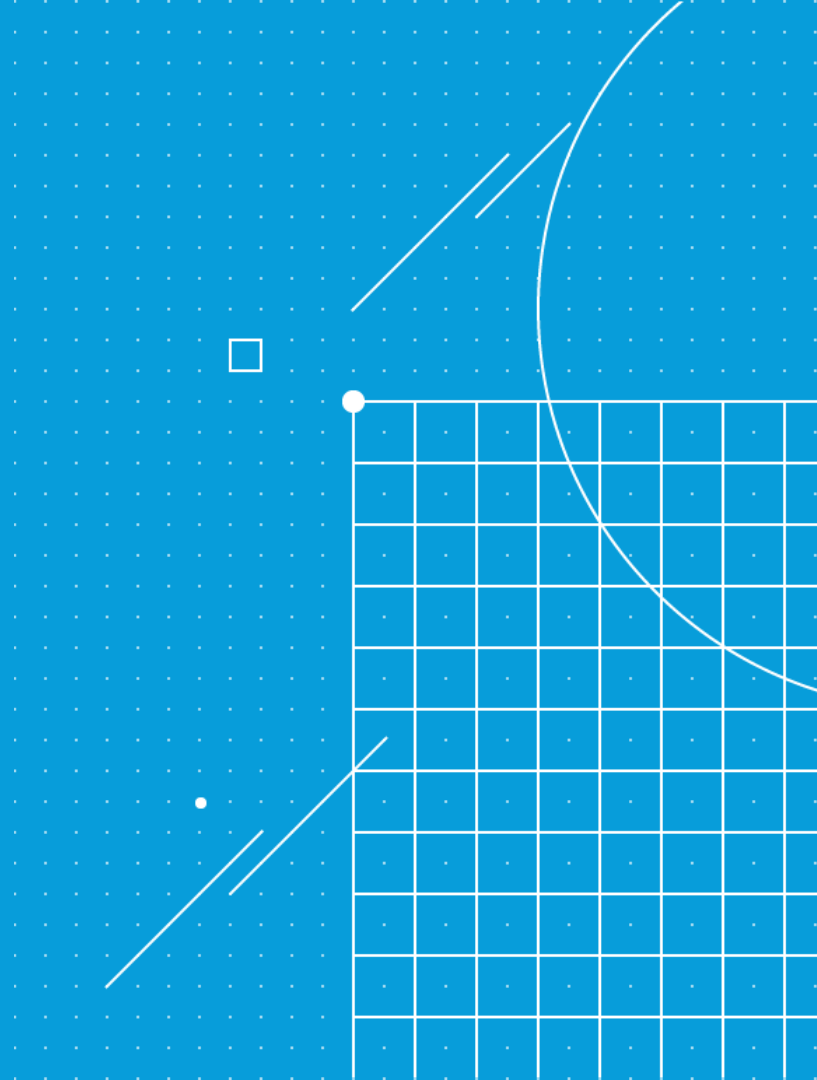
### トライアル完了

- ・検証の完了
- ・ワークフローの実現

※トライアル中も安心して短期間でご推進いただけるよう、ご契約中と変わらない品質でサポートいたします。

08

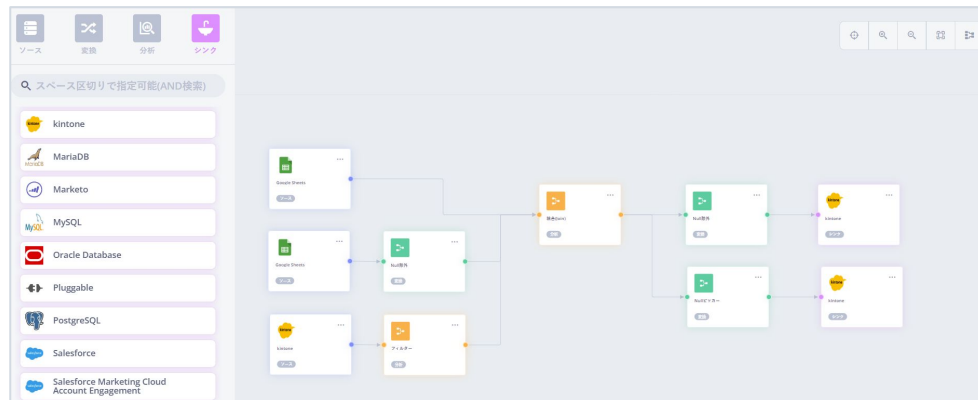
# お問い合わせ





## データ連携作業 工数を 大幅削減

Reckoner(レコナー)はクラウド型ETL/データパイプラインサービスです。使いやすさを追求し、新たなデータ連携もストレスフリーで行うことが可能です



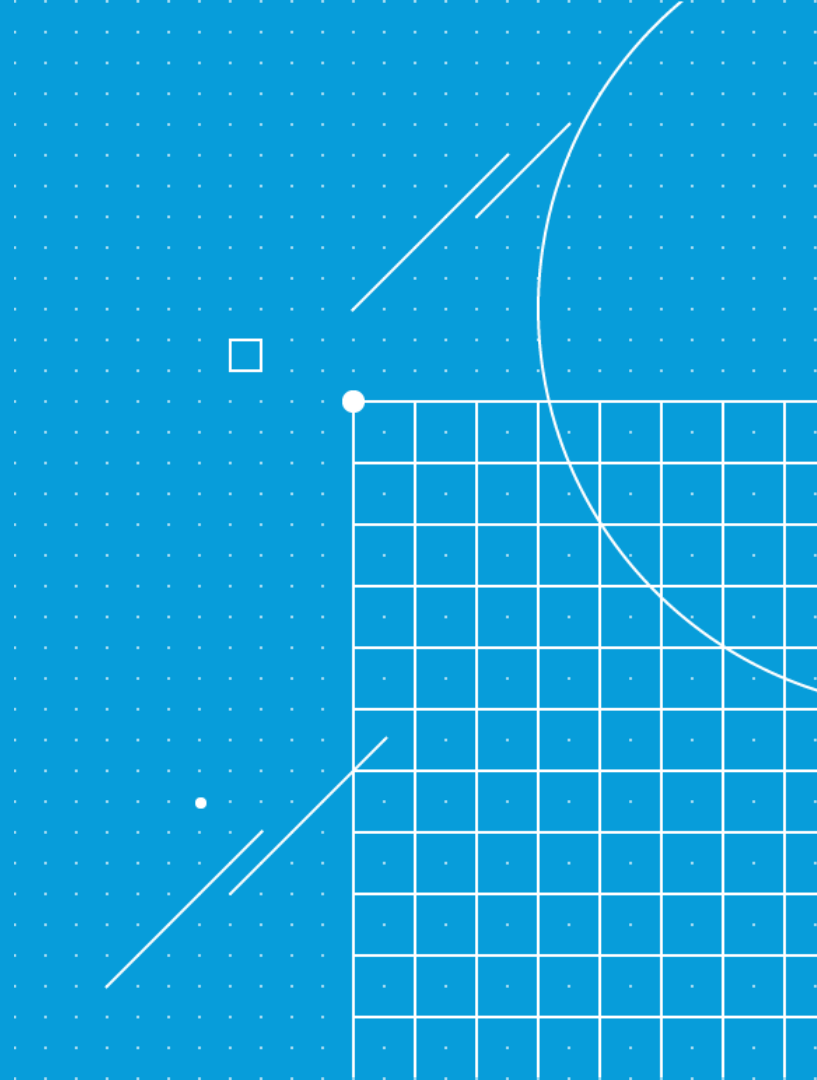
サービス詳細や料金についてのご質問・ご相談など  
お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ フォームは [こちら](#)

Thank you.



# Appendix



# ビジネスパートナー募集

ReckonerのSI事業活用や自社サービスとの連携など、DX促進・Saas間のデータ連携を共同でご協力いただけるパートナー企業様を募集しております。

## パートナー企業様



# Reckoner

### ✓リセールパートナー

- ・紹介(取次)パートナー
- ・OEMパートナー

## パートナー企業様との主な取り組み

### イベント

- ・共催ウェビナーの企画・開催
- ・展示会などの共同出展

### 案件推進の強化

- ・案件の相互紹介
- ・共同提案
- ・データ連携の伴奏支援

### Reckoner活用のポイント

- ・バッチ構築の生産性向上
- ・低コストでデータ連携実現
- ・完全ノーコード

# Reckonerパートナービジネスのメリット

Reckonerを活用したビジネス展開により、**ユーザーのDX促進**に加え、**パートナー企業様のビジネス拡大**に寄与いたします。

## パートナー

- ・生産性向上により**低価格**でデータ連携の訴求可能  
(受注率アップ/クロスセル/アップセル)
- ・他システムとのデータ連携による**解約防止**  
(チャーン率の低下)
- ・**顧客の創出**  
(共催イベント、3-shakeからの案件紹介)



Reckoner



## ユーザー

- ・サイロ化したデータを手軽に**集約可能**
- ・**低価格**でデータ連携を実現  
(SI費用の予算超過回避)
- ・**非エンジニア**でもメンテナンス可能
- ・クラウドサービスで**保守負担不要**

## 3-shake

- ・パートナー企業様の顧客にリーチした**Reckonerの拡販**
- ・パートナー企業と連携して**Awareness向上**
- ・パートナー企業のノウハウをフィードバックして**Reckoner機能拡張**